



NPO法人リトルオレンジズ
代表理事

ひ の な お こ
日野 尚子 さん

鹿屋市寿にある洋服店の1階でリサイクルショップをしています。ですが、ここを子どもたちが笑顔になれる健やかな場所にしたいと思い、平成29年にボルダリングやトランポリンを設置し「キッズパーク・シスコ」としてオープンしました。その後、知人の勧めにより、これらを活用した放課後デイサービスを行う「NPO法人リトルオレンジズ」を開業。子どもたちの個別性を尊重した支援を提供しています。

私自身、それまで福祉に縁はありませんでした。勉強を重ねながら保育士などの資格を取得。勤務するスタッフが子どもたち一人ひとりを観察し、その子に必要なカリキュラムを随時構築しています。スタッフが思いやりや愛情を持って一生懸命作り上げたプログラムが、後に理論や知識に裏付けられることが多くあり、その度に私たちのプログラムは日本一だと胸を張って言うことができます。また、なんでも表彰してあげる。

褒めてあげるようにしています。「障がいがあっても、褒められる機会を・できるを感じられる機会を・愛される機会を」というリトルオレンジズの理念のもと、ありのままの子どもたちが愛され、そして自分自身を好きになってくれるようなコミュニケーションを心掛けています。

子どもの発達過程は、周囲の人々や環境などの相互作用によって形成されます。多くの人たちが集う場所として、近々、建物を改築する予定です。カフェやスタジオ、就労継続支援B型施設などを組み込むことで、そこにいる人たちが交差し、意図しない化学反応を起こせるような場所になりたいと考えています。

ここに通う子どもたちが、思いもよらない成長^{ミラクル}を見せてくれることで「福祉は私の天職だったんだ」と実感しています。



【左】 トランポリンを使ったカリキュラム。体を使って全身の感覚を養うためのトレーニングとして有効。何よりも子どもたちが楽しく活動できることが大切
【右】 新しいリトルオレンジズの改修イメージ図。日野さんの熱意に共感した東京の一級建築士が設計した

information

鹿屋市出身。大学在学中にアメリカへの留学経験を持つ。夫と7歳の娘の3人家族で、旅行先での神社仏閣巡りが好き。先日、御朱印帳が5冊目に突入。
キッズパーク・シスコ
〇場所 寿8丁目10-4